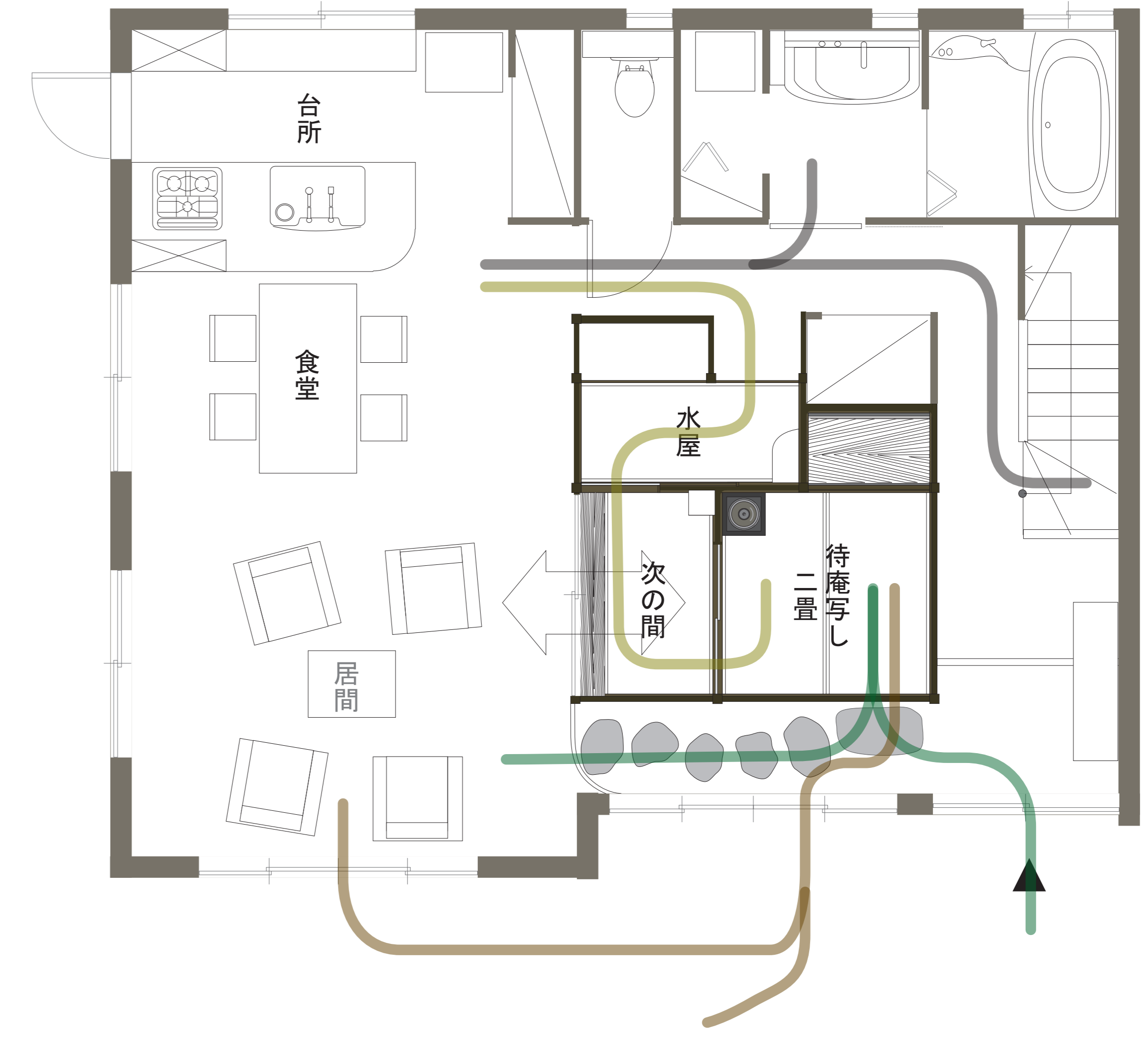


茶室提案 計画図

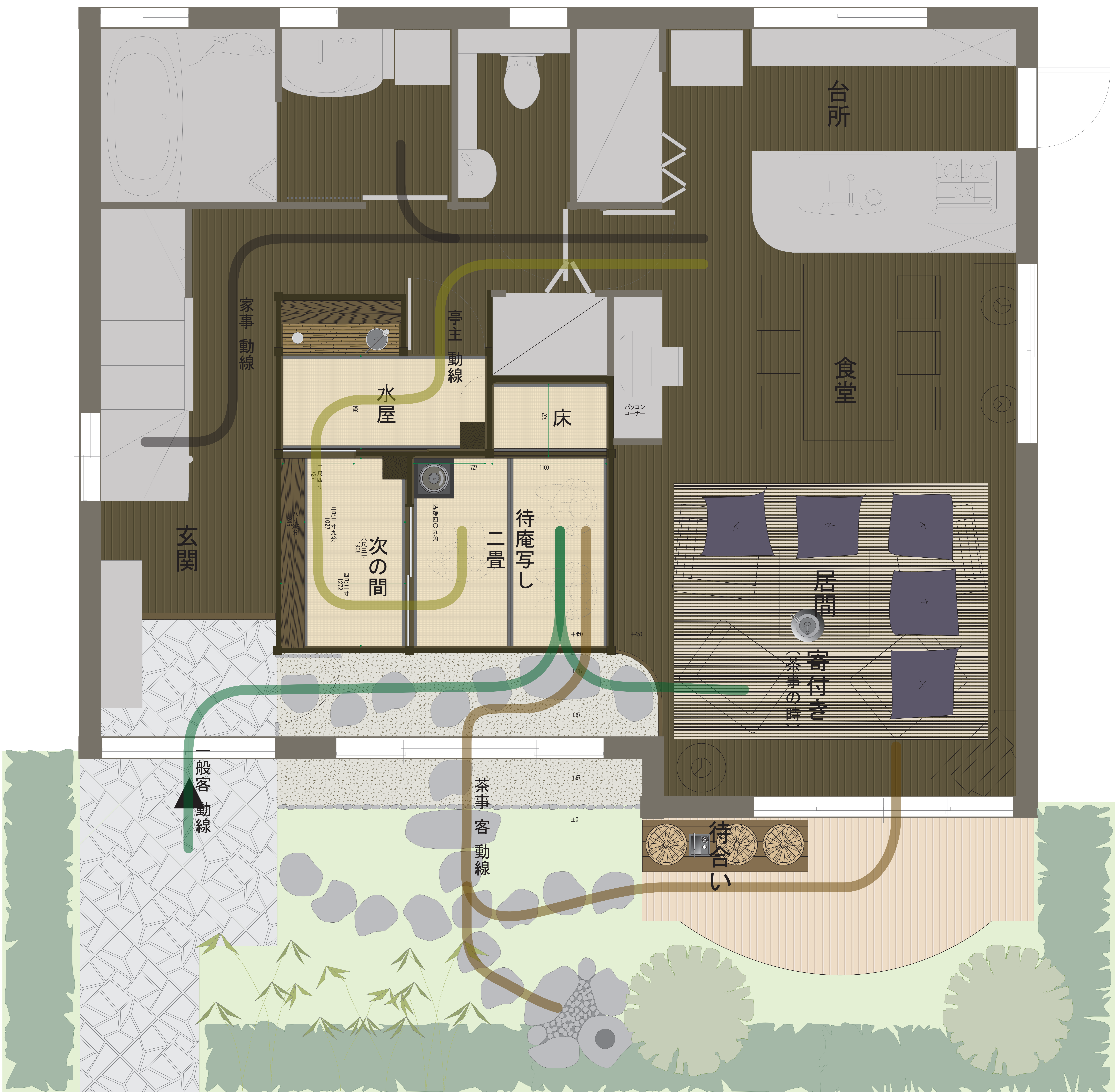
待庵 写し茶室

計画概要

- ・建物の中央に待庵写しを配置することで下地窓、蹴り口など住性能を損なう開口を、内部同士の繋がりとした
- ・『下地窓』は玄関、居間からの、景色として演出装置となりまた、茶室空間と程よい繋がりをつくる  
(茶室への客の動線は、南側土間空間からだけとなる)
- ・また、居間への繋がりをより強くするには、右記のような計画も考えられる



縮尺：1/30 一階床面積：約70m<sup>2</sup>



——— 亭主動線     
 ——— 茶事客動線     
 ——— 一般客動線     
 ——— 家事動線